

令和6年度 卒業式を執り行いました



令和7年3月3日、第27期生の卒業式を執り行いました。

今年度は、全校生徒と多くの来賓、保護者の方々にも見守られながら、82名の学生が新たな一歩を歩み始めました。看護学校での学びを忘れず、一人でも多くの患者様の健康回復に関われるよう、看護師として成長していきましょう。（※三重中央医療センターのInstagramもご覧ください。）

<答辞> ※一部抜粋

冷たい風の中にも、柔らかな日差しが注ぎ春の訪れが感じられる今日。～中略～ 実習では、実践的な看護技術の経験を通して看護師の仕事への責任の大きさを実感しました。それだけでなく、看護のやりがいにも気づくことができました。意思を強く持ち、患者様の為に行動のできるようになりたいという看護師像を見出すことができました。実習を通して、自分の未熟さを痛感し、悔しさやもどかしさから涙を流したこともありました。そんな時、指導者さんは学生の看護計画を基に患者様の個別性に合った看護と一緒に考えてくださいました。学生に対する熱い指導が、自分達を大きく成長させてくださいました。～中略～ 共に過ごしてきた仲間との三年間の思い出は、これから先、何があっても私の心に残り続ける大切な宝物です。落ち込んだ時は思いだし乗り越えていきます。夢を叶えることを応援し、支えてくれた家族。暖かく見守ってくれて、とても心強かったです。これまで関わってくださった周りの皆様への感謝の気持ちを忘れず、これからの道を歩んでいきます。

